

令和5年度 園芸科「農業選択2 作物」シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	園芸科 2年A組
教科書	作物（実教出版）	副教材等	

1 学習の到達目標

<p>農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、農業の各分野の改善を図る実践的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 作物の生産と経営について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 作物の生産と経営に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。</p> <p>(3) 作物の生産と経営について生産性や品質の向上が経営発展につながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。</p>
--

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	作物生産の役割と動向 作物の特徴と種類 ラッカセイ サツマイモ 世界の食糧自給	作物とは	<ul style="list-style-type: none"> ・作物と作物生産の役割について学ぶ。 【実習】播種、定植を行う。 ・身の回りの作物と作物利用と広がる作物生産の役割について学ぶ。 【実習】春作物の管理を行う。 ・作物の利用と食品価値の重要性を理解し、作物の生産量と消費量の動向を理解する。 ・【実習】作物の定植を行う。 ・作物とその近縁野生種の一般的な性質の違いを理解する。 ・繁殖様式に基づく分類を理解する。 ・世界の主要作物の年間生産を理解する。 ・貿易の主な流れを知る。 ・生産の動向や食糧自給率について関心を持ち概略を知る。 	展開毎に評価する ・出席状況 ・服装、教具の整備 ・行動観察 ・ノート提出状況 ・ノート記載内容 ・ワークシート ・実習結果確認 ・定期考査
5		作物栽培の動向		
6		作物の特徴と改良 中間考査		
7		作物の分類と種類 生産と消費の動向 穀物貿易の動向 我が国の作物生産の動向 期末考査		
9	作物の成長と体のしくみ 生殖成長の進み方 作物の生理的な営み 農業技術検定	作物の一生と生活史	<ul style="list-style-type: none"> 【実習】ソバ播種 稲刈り ・植物体の成長について学ぶ。 ・植物体のライフサイクルについて学ぶ。 ・光の強さ、温度について理解する。 ・成長過程について知る。 ・好適な環境を理解する。 ・栽培環境下の違う条件により花芽分化を発生させることを理解する。 ・開花後から受精について知るとともに結実までの流れを知る。 ・果実の成熟を理解する。 ・光の強さを理解する。 ・光波長の選択的利用について学ぶ。 ・好適な温度環境を知る。 ・植物体が感じるストレスについて学ぶ。 【実習】栽培管理実習 ・根の組織について知る。 	展開毎に評価する ・出席状況 ・服装、教具の整備 ・行動観察 ・ノート提出状況 ・ノート記載内容 ・ワークシート ・実習結果確認 ・定期考査
10		栄養成長の進み方 花芽分化と発達		
11		受精と結実 中間考査 光合成 タンパク質の合成 養水分の吸収		
12		作物の分野 期末考査		

1	生育の善し悪しの判断	健全な生育の条件とすがた	<ul style="list-style-type: none"> ・形成層の構造を理解する。 ・光合成と養分吸収が影響していることを学習する。 	展開毎に評価する <ul style="list-style-type: none"> ・出席状況 ・服装, 教具の整備 ・行動観察 ・ノート提出状況 ・ノート記載内容 ・ワークシート ・実習結果確認 ・定期考査
2		不健全な生育の原因とすがた	<ul style="list-style-type: none"> ・軟弱徒長型のすがたを理解する。 ・軟弱徒長の原因を学ぶ。 ・栄養不足となる原因を学ぶ。 	
3	作物の利用部位と栽培のポイント	生育診断の重要性 果実・子葉の利用 学年末考査	<ul style="list-style-type: none"> ・生育障害の原因を学習する。 ・生育診断の方法を理解する。 ・イネや麦類の完全登熟粒と不完全登熟粒の違いを理解する。 ・利用部位について栽培特徴を理解する。 	

3 評価の観点

知識・技能	作物の生産や経営を総合的に捉え体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。農業生物の育成と環境保全に関するプロジェクト学習を通して、知識と技術を理解し、農業の社会的な意義や役割を理解することができる。
思考・判断・表現	作物の生産や経営に関して、課題を発見し農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養われている。体験的、探究的な学習活動を通して、生物生産の仕組みとその育成や地域環境に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決することができる。
主体的に学習に取り組む態度	作物の生産や経営管理につながる知識や技術が身に付くよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度が養われている。農業の各分野への展開と活用を目指し、主体的かつ協働的に取り組む態度、農業の振興や社会貢献に主体的活協働的に取り組むことができる。

4 評価の方法

「知識・技能」, 「思考・判断・表現」, 「主体的に学習に取り組む態度」, の3観点から評価規準に従い、総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ

<ul style="list-style-type: none"> ・出席を常にしてください。 ・教室展開と実習展開の科目です。教具や実習服を準備してください。 ・主体的に行動し、協働で取り組んでください。 ・実習では安全に配慮して、授業に参加してください。
--